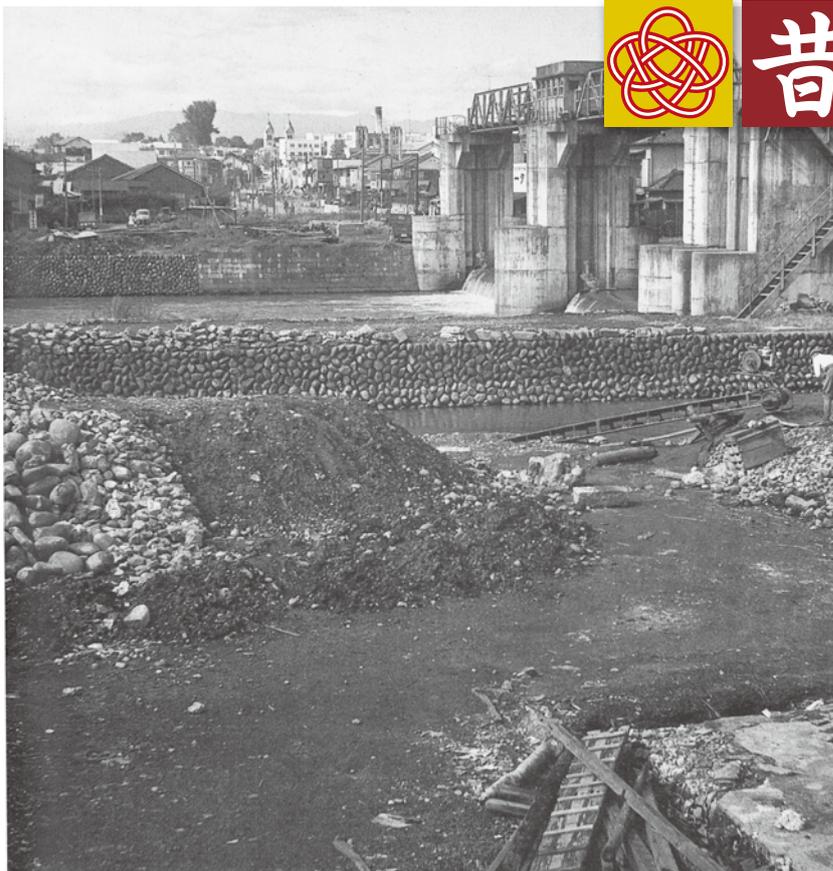


田川洗橋付近 (昭和34年)

田川に架かる「洗橋」の左岸から市の中心部に向けて撮影された写真の今昔。現在の「洗橋」(写真下)を建設中の昭和34年の写真左上には、「旭町の大銀杏」や「松が峰教会」、「旧宇都宮商工会議所」が見通せます。

「洗橋」の名前は、この付近の田川に、宇都宮藩の殿様の馬の洗い場があったことから名付けられました。戊辰戦争の時に、土方歳三たちが宇都宮城を攻めるためにこの橋を通ったといわれています。



はつらつ宮っこ

今、輝いている市民

宇都宮でしかできない

質の高い音楽を奏でたい

三味線奏者 本條 秀慈郎(本名 鮎沢 京吾さん)



際立った芸術活動により、今後の活躍が期待できる芸術家に贈られる宇都宮エスポール賞。今回受賞した本條さんは、「自分がやってきたことが正しかったんだと背中を押してもらった気持ちです。それを自分の故郷の宇都宮が認めてくれたというところが本当にうれしいです」と話します。



「宇都宮と東京の架け橋になってほしいとよく言われますが、その表現はあまり好きではありません。宇都宮は、東京に負けない素晴らしい芸術や文化がある街です。この財産を我々の世代がもっと広げていきたい。宇都宮でしかできない、質の高い音楽をお客様に届けられるよう頑張っていきたいです」と力強く話す本條さん。今日も地元を思い、その音色を奏でます。